

平成 24 年度（社）日本建築構造技術者協会九州支部総会 議事録

平成 24 年 5 月 11 日 14 : 30 ~ 16 : 15

司会 : 内山執樹

出席者数の確認 出席者 73 名 委任状 129 名 合計 202 名

正会員 362 名の 1/3=121 名以上の出席である為、議決権を持つ総会と認定される。

(最終出席者数[事務局事後報告]):正会員出席者数 86 名+委任状 129 名=合計 215 名)

1. 支部長挨拶 : 尾宮支部長

本年度まで、本部の地区担当理事を務めます。後にご承認頂ければ、引き続き支部長を務めます。本総会の議事には浅山会員よる発議もあります。活発な議論をお願いします。

2. 議長選出

推薦により河野昭二会員を推挙、応諾。

3. 議事進行 : 河野議長

書記に小林弘典会員と加藤千佳会員を指名。

議事は 1 ~ 3 号、4 ~ 6 号、7 号、8 ~ 9 号とまとめて審議していく。

議事録署名人に原英基会員と今林光秀会員を指名。

委任状により議長に委任されている議決権は、すべて支部長に委譲する旨河野議長より発言。

1) 平成 23 年度事業報告 : 事務局 : 渡部

総会資料 P - 2 ~ 4 の内容を説明。

2) 平成 23 年度収支報告 : 事務局 : 山下

総会資料 P - 5 の内容を説明。

- ・ 研究会費は 80 万円を予定していたが、50 万円程度となった。
- ・ 研究受託費は 30 万円を見込んでいたが、業務委託が発生しなかったのでゼロ。
- ・ 講習会は 4 6 回、地区では 5 6 回と非常に活発に行われたが、若手をはじめ多くの方に集まってもらうために会費を抑えたことが「研究会費」決算額が減った理由である。賛助会費も昨今の事情により現状維持のままである。(/ 尾宮支部長より補足)

3) 平成 23 年度監査報告 : 石松監査

平成 24 年 5 月 2 日、玉重、石松両監査と事務局立ち会いの上その内容が適正なものと認めたことを報告。

以上 3 件の報告について審議を要求し、質疑・意見は特になし。

以上 3 件について、挙手多数で承認。

4) 平成 24 年度新組織紹介 : 尾宮支部長

総会資料 P - 7 ~ 8 に従って新任の方の紹介。

- ・ 副支部長に大塚会員と原会員。
- ・ 幹事に松下会員と吉原会員。
- ・ 長崎地区幹事に陣川会員、鹿児島地区幹事に鎌田会員。

- ・ 編集ホームページ委員会委員長に今林会員（青年部会長兼務）、副委員長に石井、福田両会員。
- ・ 技術委員会委員長に上瀧会員、副委員長に川崎会員。
- ・ 設計規準系部会部会長に吉原会員、副部会長に甲斐会員。
- ・ コンクリート系部会部会長に伊藤会員、副部会長に木村会員。
- ・ 耐震改修促進委員会委員長に松下会員、副委員長に原会員、運営委員に上野、香月各会員、高比良会員（長崎）、河野会員（大分）。

報告について審議を要求。

- ・ JSCA 構造士と構造一級建築士とは、どちらが上位資格と考えているか。（／政時会員）
→ 本部としては面接して人物評価をしている JSCA 構造士の方が上位と考えているが、一般的に資格としては構造一級建築士の方が認識されている。JSCA としては自己研鑽していることをアピールしていきたい。（／尾宮支部長）
- ・ 一般社団法人となった本会にあっては、学術的にリードする立場にある部会の部会長には、学識経験者またはそれと同等と考えられる JSCA 構造士をあてるべきではないか。（／政時会員）
→ JSCA が一般社団法人として社会貢献できることが重要で、学術的資格にこだわる必要はないと思う。（／高橋幹事）
→提案の陣容で会員の要望に応じていけるものと考えている。（尾宮支部長）

挙手多数で承認。

議場、新旧副支部長が交代。拍手。

5) 平成 24 年度事業計画：尾宮支部長

2012 年の方針はバトンリレー。

- ① 若手設計者へのリレー
 - ・ デザイン発表会@京都
 - ・ 振動解析セミナー
 - ・ 構造展@長崎
- ② ベテラン設計者からの匠の伝承
 - ・ シンポジウム：地震に備える
 - ・ 見学会、講習会 → スキルアップ
- ③ 青年部、なでしこ会
 - ・ 自主活動
 - ・ 底辺の拡大
- ④ 次の主役
 - ・ 組織改革の準備

6) 平成 24 年度支部予算：事務局：山下

総会資料 P-10 の内容を説明。

- ・ 交付金は¥3,341,000-で確定。
- ・ 予備費として¥25,000 しか余裕がない。活動はしながら支出は減らす努力が必要。

以上 2 件の報告について審議を要求し、質疑・意見は特になし。

以上 2 件について、挙手多数で承認。

7) 支部規約の改定について：尾宮支部長

一般社団法人となったことに伴い、規定内の語句を「一般社団法人」に変更した。

拍手にて承認。

8) 福岡県構造判定機関複数化要望書について：尾宮支部長

総会資料P-17~21 について経緯説明。

- ・九州各県ではなく福岡県に限った要望書とした。
- ・H23年5/12に適判とJSCAで意見交換会（県建築指導課、住宅センター、JSCA）。課長から適判複数化の予定は無いとの明確な発言があった。
- ・H23年7月 役員会で複数化要望書提出を提案。役員の反対は無く、了承を得た。
- ・H23年8~10月 県関連他団体と協議、取りまとめ。
- ・H23年12/20 知事および建築指導課宛への要望書を、建築都市部部長へ提出。
- ・今年1月 ホームページの新年挨拶および機関紙に、要望書提出した旨を記載。
- ・現在、具体的な動きは聞いていない。

9) 会員からの決議議案

総会資料P-22~23 :

①福岡県知事宛の「構造判定機関の複数化を求める要望書」の情報公開を求める決議議案

②福岡県知事宛の「構造判定機関の複数化を求める要望書」の取下げを求める決議議案

- ・議案はホームページ上での3ヶ月間の情報公開を求めるものであり、この内容で決議を求める。情報公開できないような要望書であれば取下げを求める。（/浅山会員）
- ・要望書の内容は役員会の総意であり個人的なものではない。要望については各関連団体の了解をとっているが、情報公開に関しては一部他団体からの反対意見があり、誰でも閲覧ができるホームページには載せていない。会員に対しては開示すべきと考えており、会員からの要望があれば個別に開示する旨をホームページに掲載していきたい。要望書の取下げはしない。（/尾宮支部長）
- ・総会資料に添付されているコピーは提出した要望書と同一のものですか？（/政時会員）
- ・日付が入っていないので、提出前の状態のコピーであるが、内容は提出したものと同じである。（/尾宮支部長）

以下、他県の会員からの意見

- ・公開して欲しくないという他団体の意見は尊重すべき。沖縄は適判2団体体制が維持されている。九州最大県の福岡で1団体しかないのは考えられない。2つと言わず3,4団体あっても良い。（/沖縄：花城幹事）
- ・会員に開示はすべきであるが、誰でも閲覧できるホームページに公開する必要は無い。（/佐賀：江口幹事）
- ・ホームページで会員がパスワードを入力することで閲覧できるようにして欲しい。複数化の要望は正しい。（/鹿児島：木場会員）
- ・議案書の内容は、要望の方法に問題があるというふうに取り取れる。複数化については反対かどうか読み取れないのではっきりさせた方が良い。個人的には複数の方が良いと思う。（/大分：糸永会員）
- ・JSCA九州のホームページ上で公開して欲しい旨を1月から要望しているので、この件を採決して欲しい。複数化には反対していない。偏りが減るので、判定機関の数は増えれば増える方が良い。ただ、請願のしかたが間違っている。（/浅山会員）
- ・本日の議事録を会員全員に配布してはどうか。（/荒巻顧問）

- ・ 地区会において地区幹事が報告する方法もある。(／河野議長)
- ・ 地区会員へのお知らせは地区幹事に任せて良いのでは。(／高橋幹事)
- ・ 地区幹事が各地区で報告してください。開示要求があれば公開する旨を、早急にホームページに載せたい。(／尾宮支部長)

挙手にて採決。

決議議案①について、賛成 3 名、反対 200 名、棄権 12 名、よって否決。

決議議案②について、賛成 1 名、反対 209 名、棄権 5 名、よって否決。

- ・ 採決の際、挙手を求める前にどの項目で挙手をするかを明示すべきではないか。(／政時会員)
- ・ 以後気をつけます。(／河野議長)

10) その他

- ・ JSCA 九州のホームページもパスワードで会員が閲覧できるものにして欲しい。(／政時会員)
- ・ ホームページに関しては水野会員に頼っている状況。(／尾宮支部長)
- ・ 編集ホームページ委員会で現在是对応ができません。パスワードと個人を結びつける作業は膨大でボランティアではできない。会員でソーシャルネットワークの利用も考えて欲しい。また、ホームページは世界中の誰もが閲覧できる事が基本だと、個人的には考えている。(／水野副委員長)

4. 議長退任

5. 地区会報告

【北九州：高島幹事】

- ・ 会員の増強、親睦、技術研鑽の 3 本柱。
- ・ 産学官の 3 回目の講演会を 10～11 月に予定している。
- ・ 本日の内容は、地区会にて伝えたい。

【佐賀：江口幹事】

- ・ 6 月 3 日・・・地区会総会、電炉鋼材勉強会
- ・ 7 月 8 日・・・建築技術者構造研修会 80 名参加
(意匠建築事務所、ゼネンコン、工務店からの参加)
- ・ 7 月 30 日・・・鉄構工業会との交流会(溶接体験)
- ・ 12 月 9 日・・・佐賀県立病院現場見学会(基礎免震構造) 30 名参加
- ・ 24 年度計画
 - 6 月・・・岡部 CC アンカー勉強会、地区会総会
 - 7 月・・・伝統建築(酒蔵・米蔵)移築現場見学会
 - 11 月・・・電炉工場見学会(東京製鐵)
- ・ 会員増員

【長崎：陣川幹事】

- ・ 長崎にて「建築構造展」を開催します。
開催日：6 月 21・22 日 会場：長崎商工会議所

【大分：高橋幹事】

- ・若手の育成、会員を増強したい。
- ・免震病院の現場見学会を予定している。
- ・適判との交流を図りたい。

【熊本：赤星幹事】

- ・若手、学生を取り込んだイベントを考えている。
- ・熊本では JSCA 会員の約半数が適判判定員として活動している。昨日も判定員会議が開催され、判定項目の平準化など闊達な意見交換が行われた。
- ・耐震診断件数 210 件、適判 330 件
- ・会員数は 21 名

【宮崎：大塚幹事】

- ・地区会総会を 4 月に行った。
- ・若手の育成、スキルアップのための部会を立ち上げた。
- ・年 4, 5 回の講習会、見学会を予定している。

【鹿児島：鎌田幹事】

- ・川口先生、古市先生を招いて現場見学会および講演会を開催する予定。会員のみならず構造或いは建築に携わる人のスキルアップを図る。

【沖縄：花城幹事】

- ・4月に地区総会を行った。役員改正で花城が幹事継続、新副幹事が安里和敏会員。
- ・今年 9/7 に第 1 回役員会が沖縄で開催される。その準備をしている。

6. 委員会報告 ～JSCA 構造デザイン発表会について～
時間の関係で割愛。

以上

記録：小林、加藤

議事録署名人

原 英基



小林 光秀

